

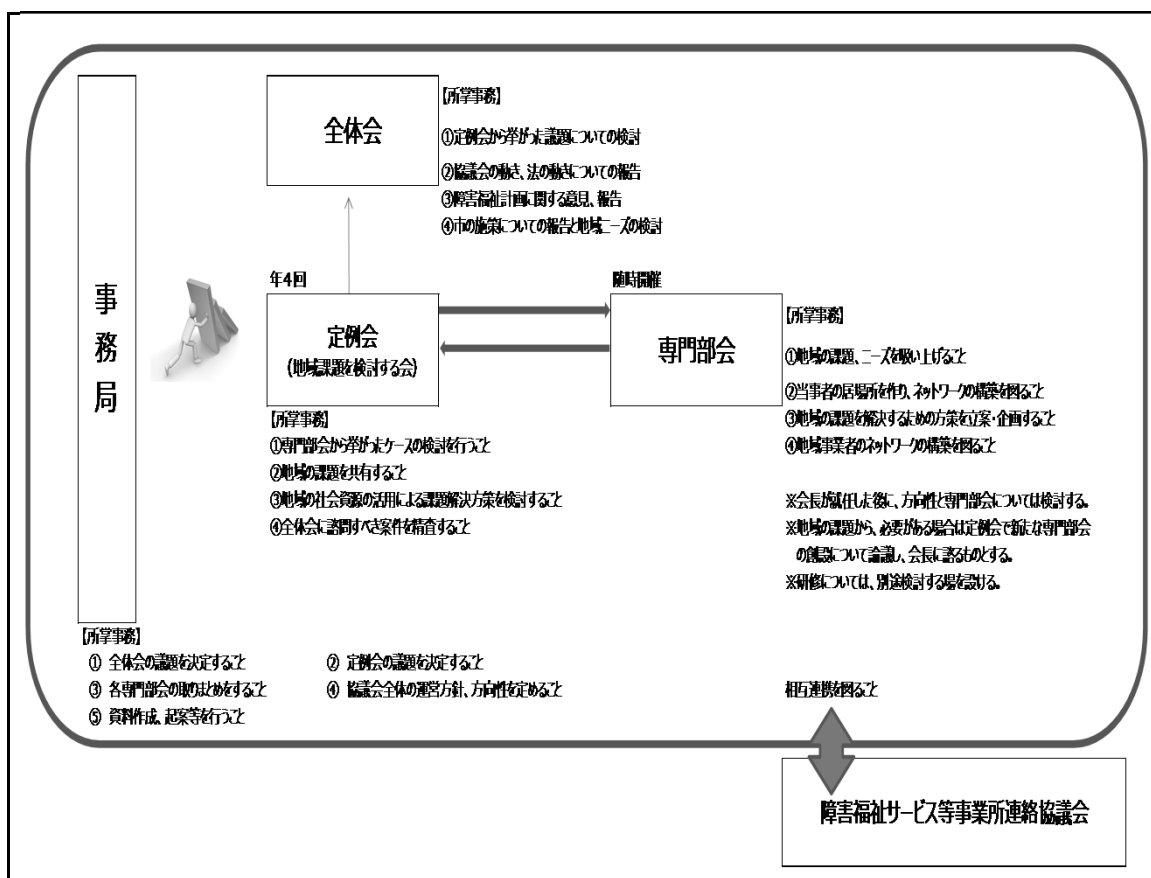
# 狛江市

【名称】 狛江市地域自立支援協議会

【設置年月】 平成22年7月

【運営方法】 直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
未設置	1	2	2	3	2

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	—	—

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

### 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

## 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数			専門部会の活動回数及び委員数		
全体会			部会名	回数	委員数
回数	委員数		生活支援の課題を考える部会(相談支援部会)	24	16 (0)
3	13	(2)			

※「委員数」の( ): 当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

## 【全体会の委員構成及び活動内容】

### (1) 委員構成

種 別	人 数	種 別	人 数	種 別	人 数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	2	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	3
障害福祉サービス等事業者	3	社会福祉協議会	0	法曹関係者	0
民生・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合 計		13			

### 委員名簿

No.	役 職	氏 名	所 属	種 別	備 考
1	会長	江國 泰介		学識経験者	
2	副会長	大山 寛人		相談支援事業者	
3	委員	東 貴宏		相談支援事業者	
4	委員	大仁田 妙子		相談支援事業者	
5	委員	橋爪 克幸		障害福祉サービス等事業者	
6	委員	高橋 基子		障害福祉サービス等事業者	
7	委員	荻野 修		民生・児童委員	
8	委員	鈴木 大城郎		その他	児童通所支援事業者
9	委員	沖谷 共子		教育関係機関	
10	委員	大島 一栄		教育関係機関	
11	委員	山科 美絵		保健所	
12	委員	牧 奈苗		障害当事者・家族・関係団体	
13	委員	飯田 なおみ		障害当事者・家族・関係団体	

### (2) 活動内容

各分会の報告、定例会から挙がる地域課題の共有、情報提供、障害者計画・障害福祉計画の進捗状況の確認 その他

## 【専門部会の委員構成及び活動内容】

### (1) 委員構成

部 会 種 別	生活支援の 課題を考える 部会	ペガサス(当事 者)部会
学識経験者	0	0
医療関係者	0	0
保健所	0	0
教育関係機関	0	0
雇用関係機関	0	0
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	3
身体・知的障害者相談員	0	0
相談支援事業者	13	0
障害福祉サービス等事業者	0	0
社会福祉協議会	0	0
法曹関係者	0	0
民生・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	3	0
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	16	3

## 【地域協議会の活動状況】

### 1 協議会の協議事項

#### ④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

高齢者福祉サービスの事業所の活用ができないかどうかの検討

#### ⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

児童や高齢福祉との連携

#### ⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

当市の進捗状況の報告

#### ⑩ 障害福祉計画等に関すること

計画策定の際の意見聴取・計画策定後の説明

### 2 協議会としての役割

#### ② 情報共有・情報発信

市内事業所等の状況や障害福祉主管課長会議等の内容等に関する情報共有を行う。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

児童や高齢福祉との連携を行う。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

児童や各障害種別や事業所からの情報共有を行う。

⑤ 地域課題の整理

個別課題から障害種別、年齢別等に分けた地域課題の整理

⑥ 課題解決に向けての検討

全体会に挙げた地域課題について、地域の社会資源を活用してどう解決していくかを検討する。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

年度ごとに進捗状況等の確認を含めて報告を行う。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容

⑬ その他

地域課題の共有までは行ったが、具体的な取組は次年度に行う予定となっている。

4 平成30年度地域自立支援協議会交流会のグループ討議

【発表内容】

①私たちは〇〇区市町村に戻ったら、 まず〇〇をします。	②なぜなら、(①に決めた理由) だからです。
当事者部会で何かできないか検討する。	当事者部会が、本人たちにとって、一番参加し やすい場所であると考えているため。

【その後の実施状況】

4-1 その後の実施状況

実施中

4-2 具体的な取組状況

当事者が参加できるイベントを随時開催しています。